

☆平成 28 年 11 月作成『高浜市のあゆみ』編さん基本方針 より

～編さん後の普及活動～

『高浜市のあゆみ』を、生涯学習の一助、学校現場での教材として幅広い世代の市民に活用していただくため、冊子完成後、以下の活動を実施します。

- ①市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校への配布を行います。
- ②『高浜市のあゆみ』を用いた出前授業を実施するため、市内各校へ出向いての積極的な働きかけを行います。
- ③市内全ての学校現場における日常的な活用をめざし、部会に参加していただいた教員によるモデル授業を実施します。
- ④『高浜市のあゆみ』の内容に沿った講座を「市誌講座」として開催。編集委員会や部会のメンバーが講師となり、現物資料を交えながら冊子の内容をわかりやすく紹介することで、市民の興味関心をさらに掻き立てることが目的です。
- ⑤かわら美術館において、『高浜市のあゆみ』の内容に沿った企画展を開催することで、市内だけでなく、市外の方にも冊子の存在を PR するとともに、高浜市の文化について知っていただく場を設けます。
- ⑥市広報において、冊子の内容を一部抜粋したコラムを定期的に掲載します。
- ⑦『高浜市のあゆみ』に収録されている内容をより詳細に記したり、収録しきれなかった内容をテーマごとにまとめるなど、本編と合わせて活用できる小冊子を発行します。

☆現状の普及活動

①「タカハマ！まるごと宝箱」×「高浜市誌編さん」連携講座の実施

市民のみなさんに市誌の調査で掘りおこされた資料の紹介や、資料を用いながらの講座を開催しています。

②「たかはまアーカイブ」の連載

市広報の裏表紙に市の歴史や文化についての内容を、古写真やかわら美術館・郷土資料館の所蔵品を用いながら紹介。原稿作成にあたっては市職員だけでなく、美術館や

図書館スタッフ、市民の調査協力員さんなどにもご協力いただいています。

③「市誌編さんだより」の連載

毎月奇数月の市広報で、進捗状況の報告や資料紹介などを行い、活動状況のアウトプットを行っています。

④『高浜市のあゆみ資料』の発刊

平成 29 年度より発刊。本編に収録しきれない内容の掲載や、より詳細に資料を紹介するなど、時代や分野ごとに本編と合わせて活用できる小冊子を目指します。

⑤「たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム」の開催

平成 30 年度よりスタートしました。市誌編さんの中間報告の意味合いと共に、ここでの発表内容や意見交換内容も市誌本編に盛り込むことを念頭においています。



☆今後の普及活動及び市誌の活用（案）【令和 2 年度以降】

- ① 「市誌講座」の開催(まるごと宝箱との継続した連携も検討)【継続】
- ② 『高浜市のあゆみ資料』の発行【継続】
- ③ たかはまアーカイブの連載【継続】
- ④ 市誌編さんだよりの連載【継続】
- ⑤ 「たかはま 歴史・まちづくりシンポジウム」の開催【継続】
- ⑥ 市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校への新しい市誌の配布【令和 3 年度】
- ⑦ 学校現場や公共施設等における日常的な活用(授業・出前講座など)【令和 3 年度以降】
- ⑧ かわら美術館展覧会等での整理資料の活用【令和 3 年度以降】

memo